

さざんか通信

vol.50

NPOたすけあいワーカーズさざんか

167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪401

TEL 5347-1234, 5347-1130 FAX 5347-1180

URL : <http://www.npo-sazanka.org/> 発行責任者 豊泉 惣子

「これからの自立援助サービスへ」

ACT自立援助サービスは、「住み慣れた地域で自分らしく生活するための助け合いのしくみ」として、25年前に誕生しました。

さざんかは、杉並でそのしくみを地域に広めようと設立され、当時はメンバの自宅を事務所代わりに使用していたそうです。

それから21年経ち、地域の方々に支えられながらメンバーも増え、現在は自立援助サービスに加え、介護保険、障がい福祉、子育て支援と、幅広いサービスを提供していますが、全てのサービスにおいて私たちのケアの基本は自立援助サービスにあると考えています。

子育ては、少子化対策により以前よりも子育てしやすいサービスや設備が整ってきているように感じます。しかし核家族が進み、地域全体で子育てをする時代ではなくなっている今、子供を育てる親の負担は気が付かないうちに心身共に大きくなってきているかもしれません。インターネットで得られる情報は多く、便利な子育てグッズも驚くほど豊富ですが、子供の個性や成長の段階で戸惑い悩む事もあるかと思えます。

そのような時、話を聞いてもらえる、疲れていたら子どもを見てもらえ、家事を手伝ってもらうことで心にゆとりができる、といったその時その方の状況に合うサービスを提供し、地域とつながるきっかけになりたいと考えています。

その想いは子育て支援に限らず、介護保険も障がい福祉サービスでも同様です。公的な制度のサービス時間は改正のたびに削減され、満足のいくサービス時間を確保することが難しくなってきました。その限られたサービス時間の中で、「自分らしい生活」が出来るようにするにはどのように支援したらよいか、利用される方やご家族が望んでいる事は何か、その気持ちに寄り添っていくことを大切に日々ケアにあたっています。

子育てから介護まで、家族の世話は家族がやって当たり前だったのは昔の事となり、働く女性が増え、男性が家事や育児を行う家庭も珍しくはなくなりつつあります。自分らしい生き方を選択することが出来るようになってきている今だからこそ、私たちも時代の変化を捉え、ニーズに合う自立援助サービスを考えて皆様と共にこれからも地域で歩んで参りたいと思います。

ACTコーディネーター

岩本 律子



愛犬：
くるみちゃん
(10さい)

ゆうゆう館 運営メンバーの紹介

皆さんが受付等管理業務を受託しているゆうゆう館(旧敬老会館)では、お元気シニア世代の方々が、協働事業に参加したり、自主グループで趣味などを楽しみながら元気にイキイキと活動中です♪

上荻窪館

(質問内容)

お名前 出身地
楽しいと感じる時間♪

白石 光江 (しらいしみつえ) (岩手県一関市)

- 美味しい物を食べている時。
- 好きなアーティストの曲をYouTubeで見ている時。

江部直子 (えべなおこ) (神奈川県)

- 車を運転している時。(特に高速道路)
- 朝、コーヒーを飲みながら新聞を読む時。
- 博物館、美術館、庭園、お寺、花めぐりをして、好きな仏像、絵画、風景を見ている時。

木村 まゆみ (きむらまゆみ) (東京都杉並区)

- 友人や家族と美味しい物を食べながらおしゃべりしている時。
- 旅行に行っている時。
- ウィンドウショッピングをしている時。

木田 美貴 (きだみき) (千葉県)

- 好きなバンドのコンサートに行った時。(バンプ・オブ・チキン、ラッドウィンプス、アレキサンドロス、サカナクション)

吉田 恵子 (よしだけいこ) (兵庫県)

- 家族や友達とお茶を飲んだり、美味しい食事をする時。
- 日常から離れていろいろなところに旅をすること。列車の旅や車の運手をしている時が楽しい。

藤原 竜祐 (ふじわりりゅうすけ)

(東京都杉並区)

- 話の合う友達と飲んでいる時。

市川 文子 (いちかわふみこ)

(東京都練馬区)

- 学生時代の友人とのバンド活動。
- 母と通う俳画教室



上荻の敬老発表会で
スタッフがパフォーマンスを披露しました♪



野口 鎮夫 (のぐちしずお) (東京都)

- 利用者の方から、館の運営やイベント(敬老発表会他)についてほめられた時。

四宮館

宮内 美奈子 (みやうちみなこ) (東京都)

- ゆうゆう館が、利用者の笑顔と笑い声にあふれた時。

高橋 良明 (たかはしよしあき)

(東京都)

- 犬の散歩をしている時。

澁澤 エリナ (しぶさわえりな)

(東京都)

- 娘と一緒にいる時。
- 食べる時。
- 歌っている時。
- アザラシを撮影している時。

山口 安奈 (やまぐちあんな)

(東京都)

- 飼い猫と戯れている時。

大竹 史代 (おおたけふみよ)

(福井県)

- 遊んでいる時。

兵頭 佐知子 (ひょうどうさちこ)

(埼玉県)

- 海で遊んでいる時。

澤木 智哉子 (さわきちやこ)

(東京都)

- 小さな荷物で旅行する時。
- 短歌の本を読む時。

協働事業を通して高齢者がふれあい、
健康づくりができるような場を提供します!



★一緒に参加（同行）しているヘルパーさんに聞いてみました★

Q. さざんかクラブの 良いところは？

マンツーマンでヘルパーが常に一緒にいるので、知らない場所、知らないメンバーの中でも、利用者さんが安心して作品作りや休憩時間を楽しむことができる場所。

お茶とお菓子を頂きながら、ほっとひと息、のんびりとした雰囲気の中、皆でおしゃべりしながら表現する楽しさを実感、共有しています♪

参加している利用者さん、ヘルパーさんの「ハツ」とするような芸術的才能に触れて「すごいな～」と感動をもらえるところ♪



利用者さんがそれぞれに楽しむことができるように、さざんかクラブのプログラムにさまざまな工夫が凝らされているところ。

先生のクラブの進め方が素晴らしい。皆、自由にのびのびと作品を作り、最後に品評会をする。苦手ながらヘルパーと一緒に作成し、楽しめる雰囲気がとても良いと思う。お茶の時間も楽しみのひとつです♪

Q. 参加している利用者さんの様子は？

ヘルパーさんに温かく見守られながら、集中して取り組んでいます。それぞれの作品を鑑賞しながら、制作への熱い思いが伝わり、皆で拍手♪笑顔で、自信を持って発表しています。

とても意欲的で、いつも時間のある限り、その時々課題を一生懸命にこなしています。

一生懸命な感じ（と言っても悲壮な感じではなく）作品が仕上がることに喜びを感じているように見えます。

皆に作品を褒められたときは、はにかみながらも本当に嬉しそうでした♪

皆さん意欲的に取り組まれていて、活気があります♪ヘルパーとおしゃべりしながら楽しそうです。

Q. さざんかクラブにひとこと♪

「ヘルパーさんもやってみましょう」と、言われますとちょっと苦手意識がありますが、さざんかクラブで描いた七夕の短冊は部屋に飾っています。

日頃、ひとりで外出できない方の為にも、さざんかクラブが今後も良い集いの場であってほしいと願っています。

作品を作ることで自己表現ができたり、お互いを認め合えたりするととても良い場だと思います。

さざんかクラブに参加し、いろんな人と出会ってみんなの輪が広がると良いですね！これからもずっと続けてほしいと思っています。



介護職員等による胃ろう吸引の研修を受講しました。

第三号研修(特定の者対象)

たんの吸引及び経管栄養は医療行為に該当し、医師法等により医師・看護師等のみ実施可能となっていました。平成24年度から、介護職員等によるたんの吸引等が将来にわたってより安全に実施されるように、「社会福祉士及び介護福祉士法」が一部改正され、一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られ、一定の条件の下でたんの吸引等の行為を実施できることとなりました。

さざんかでは、5名のヘルパーが研修を受け、みなさん無事終了されました。

研修を受けたお一人にお話を伺いました。



【痰吸引・胃ろうケア】

・経緯

介護保険と障害福祉サービスを利用されているMさんが、身体の病状が進むにつれて痰吸引及び胃ろうのケアが必要となってきたため、ケアに関わっていた5名が3月に研修を受けました。1日間の講習、そして実施（ご利用者宅）での見学と、訪問看護師さんによる複数回の実技テストをクリアした後、登録手続きに更に数か月を要して、晴れて胃ろうのケアがスタートしたのは8月でした。

・研修を受けるにあたって

Mさんの日常生活維持にとって、ヘルパーとしてできることであるならと、研修を受けて実施ケアに入ることにためらいはありませんでした。個人の希望だけでできることではないので、研修を受けさせていただけた環境に感謝しています。

・研修内容

痰吸引は、医療者と違って介護職員ができるのは口腔内のみで気道の奥まで挿入することはなく、これで痰が取れるのか？とかえって拍子抜けするものでした。

・実際のケア

痰吸引はまださほど必要なく、毎日の胃ろうケアがスタートしました。手順を覚えて道具の扱いに慣れるまではしばらくかかりましたが、丁寧に行えば難しいものではありません。ご本人の前では平静を装いながらも、実は汗びっしょりかきながらやっています。常に緊張感を持って臨み、ご本人の様子や器具の状態など安全確認作業を怠らないよう心掛けています。何よりもミスをしないよう、そして自分の体調管理にも気を配りながら、これからもMさんに寄り添っていくことができたらと思っています。

介護保険サービス提供責任者より

胃ろうは胃にチューブを通して口腔内を通さず直接栄養を胃に運ぶものです。少しずつ身体の筋力が衰え、出来ていたことが出来なくなり、食べられた物が食べられなくなる状況を目のあたりにし、可能な限り在宅生活を続けたいという、ご本人の望みを叶えるために「認定特定行為業務従事者」の認定を受けました。



障がいがあっても在宅で過ごしたい、または介護する家族の負担軽減につながるよう、お手伝いしていきたいです。

5月21日(日) 荻窪地域区民センターにて
「たすけあいワーカーズさざんか第18回総会」
 が行われました!

<議題>

- 第1号議案 2016年度活動総括(案)
- 第2号議案 2016年度決算報告・監査報告
- 第3号議案 2017年度活動方針(案)
- 第4号議案 2017年度予算(案)
- 第5号議案 定款変更に関する議案
- 第6号議案 役員選出案
- 第7号議案 その他議案決議効力の発生について
上記の議題はすべて承認されました。



役員補充選出により、岩本律子が理事に就任しました。



総会後にサプライズで、
 勤続20年のメンバーの表彰を行いました。
 ひとりひとりに感謝状を手渡し、後日、記念品も
 授与されました。



2016年度決算報告

I. 収入の部

1. 会費収入	150,000
2. 事業収入	3,286,641
自立援助	
介護保険	21,168,730
介護予防・総合	6,209,868
障がい福祉	14,068,019
行政委託	2,554,300
ゆうゆう館	18,009,376
独自	2,675,540
はっぴ-ママ	406,000
3. 寄付金収入	478,932
4. 補助金収入	500,000
5. 雑収入 他	116,488

当期収入合計(A) 69,623,894

II. 支出の部

1. 事業費	30,767,112
2. 管理費	37,685,937
当期支出合計(B)	68,453,049
当期収支差額(A)-(B)	1,170,845

1) 寄付のお願い

いつもたくさんのご寄付や賛助会費をいただきまして本当にありがとうございます。
 私たちの活動への深いご理解に感謝させて
 頂きながら大切に使用させていただきます。
 これからもさざんかには、より良いNPO活
 動を行って参りますので、皆様の温かいご協
 力とご支援をよろしくお願い致します。

○賛助会員
 個人会費 一口 千円
 法人会費 一口 一万円

「振り込み先」
 東京三菱UFJ銀行 荻窪駅前支店
 普通口座 3863106
 名義 特定非営利活動法人
 たすけあいワーカーズさざんか
 代表理事 豊泉 惣子

◆ お知らせ ◆
 年末年始のお休みは
 12月29日(金)～
 1月3日(水)まで
 となります。

働く仲間募集中♪

ヘルパー資格がなくても
 短い時間でも働けます。
 あなたもさざんかで
 お仕事をしてみませんか?

さざんか事務所
 電話 5347-1130